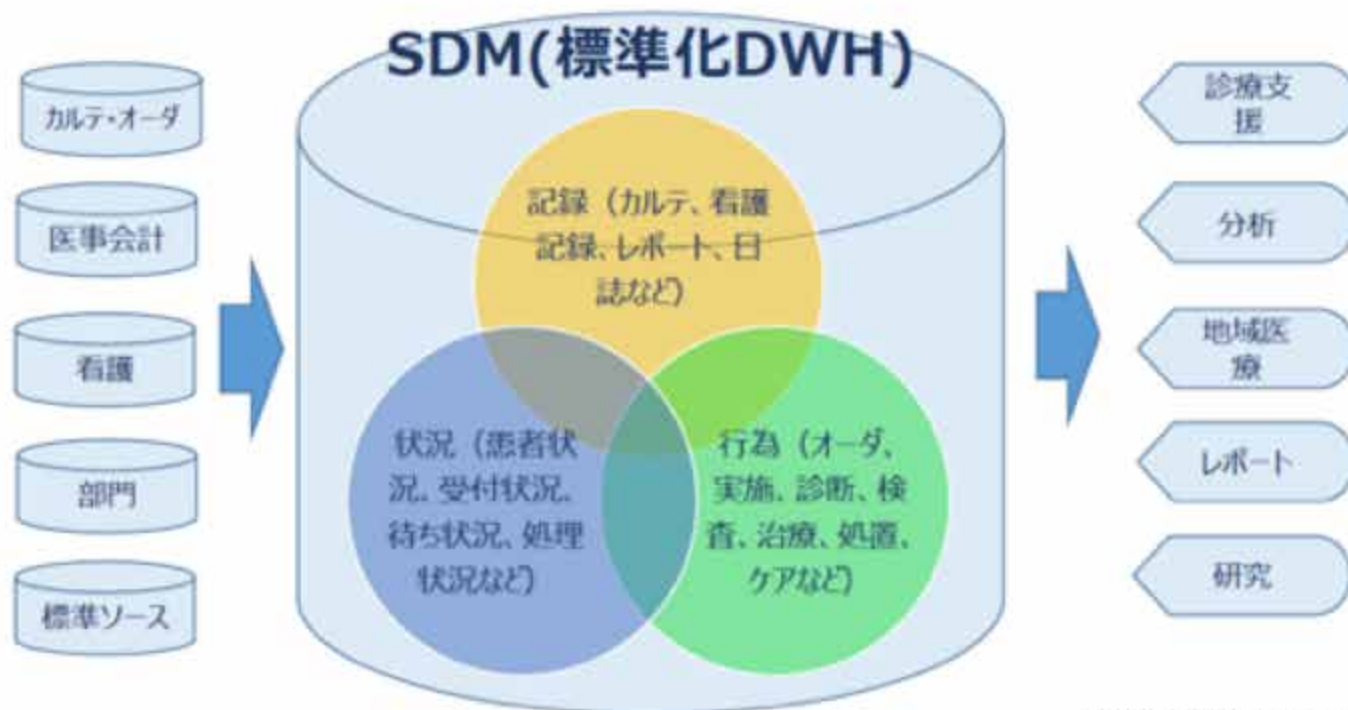


2次利用に適した 理想のデータ構造

院内での医療データの2次利用を意識したテーブル設計

トランザクションデータではなく、ファクト (5W1Hが取得可能)

電子カルテや医事会計システムと独立したDWH固有のスキーマ策定



医療データの2次利用 標準規格 が策定されると・・・

1 医療機関

- ・ 情報抽出や後処理に関する労力削減
- ・ 情報の**長期保存**による**移行コスト削減**
- ・ 分析手法の共有によるワークロードの削減
- ・ **QI** (Quality Indicator) による**質改善**

2 間接ユーザー

- ・ **病院間のベンチマーキング**が可能に
- ・ **ビッグデータ分析**が可能に
- ・ **患者の診療情報を病院間で共有**可能

3 HISメーカー

- ・ DWH要求仕様への対応が容易
- ・ ユーザーの要求対応のワークロード削減
- ・ **データ移行費用と期間の削減**

4 BIメーカー

- ・ 情報抽出や前処理に係る**対応費用と労力の削減**
- ・ 事例（サンプル）作成コストの削減
- ・ テンプレートの販売による差別化

5 システムインテグレーター

- ・ カスタマイズ**コスト削減**
- ・ ユーザからの**クレーム削減**

6 サービスプロバイダー

- ・ ビジネスモデル作成の容易さ
- ・ 参入障壁の低減
- ・ その他

3 院内→グループ病院→地域連携→PHRへ

「どこでもMY病院」 「健康寿命延伸」 「医療費削減」



医療データの 2次利用 は、

単一病院 → グループ病院 → 地域連携（健診・介護・予防） → PHR

まとめ

データ標準規格の拡充の提言

- ➔ 電子カルテシステム及び医療データが各社ばらばらなのは、日本の医療界において大きな損失
- ➔ 早期に医療データの2次利用に適した標準化の策定・拡充を
- ➔ 医療データの2次利用は、医療の学術的進歩、健康寿命の延伸、無駄のない「医療費削減」へつながる

参考) SDMとは

- ・ベンダー依存性を無くすため、特定の前提製品を持たない
- ・長期保存に耐えうるため、普遍的なスキーマとリレーションを持つ
- ・非定型検索が高速に行える検索モデル
- ・データの真正性が保たれる
- ・個人情報保護が担保される
- ・出力がそのまま利用できるように可視化されている

